

トマトの実のひび割れを防ぎます

トマトの実が夏の暑さでひび割れる被害を減らす方法を開発しました

【背景・目的】

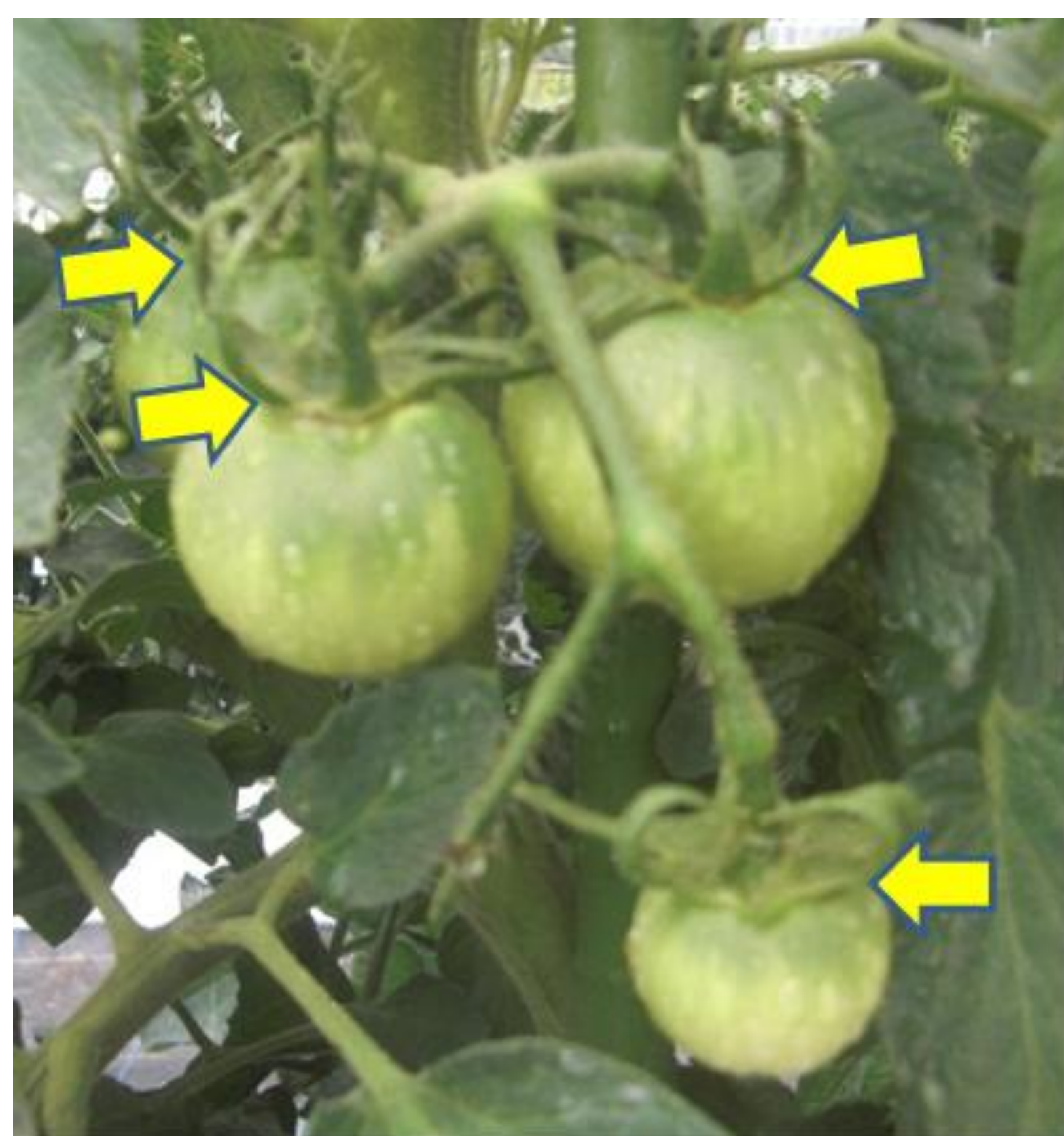
トマトを夏に雨よけハウスで栽培すると、暑さなどのために実がひび割れてしまう放射状裂果という障害が発生することが問題です。そこで、この放射状裂果の発生を減らすための液剤の散布方法を明らかにしました。



放射状裂果

【成果の内容】

1. 「フルメット液剤」の20ppm液を、果実の直径が3～4cmの時に、1果房当たり1回散布します。
ハンドスプレーを使って、実とがくの間隙を狙って液をかけます（右の写真参照）。
2. 果房当たり2ml（果実1個当たり0.5ml）という少ない量でも放射状裂果の発生を減らす効果があります（図1）
3. 農薬として使用できる範囲内では、濃度が高いほど、放射状裂果の発生を減らす効果が大きいです（図2）



がくと果実の間隙（矢印の部位）に薬液が保持されるよう散布する

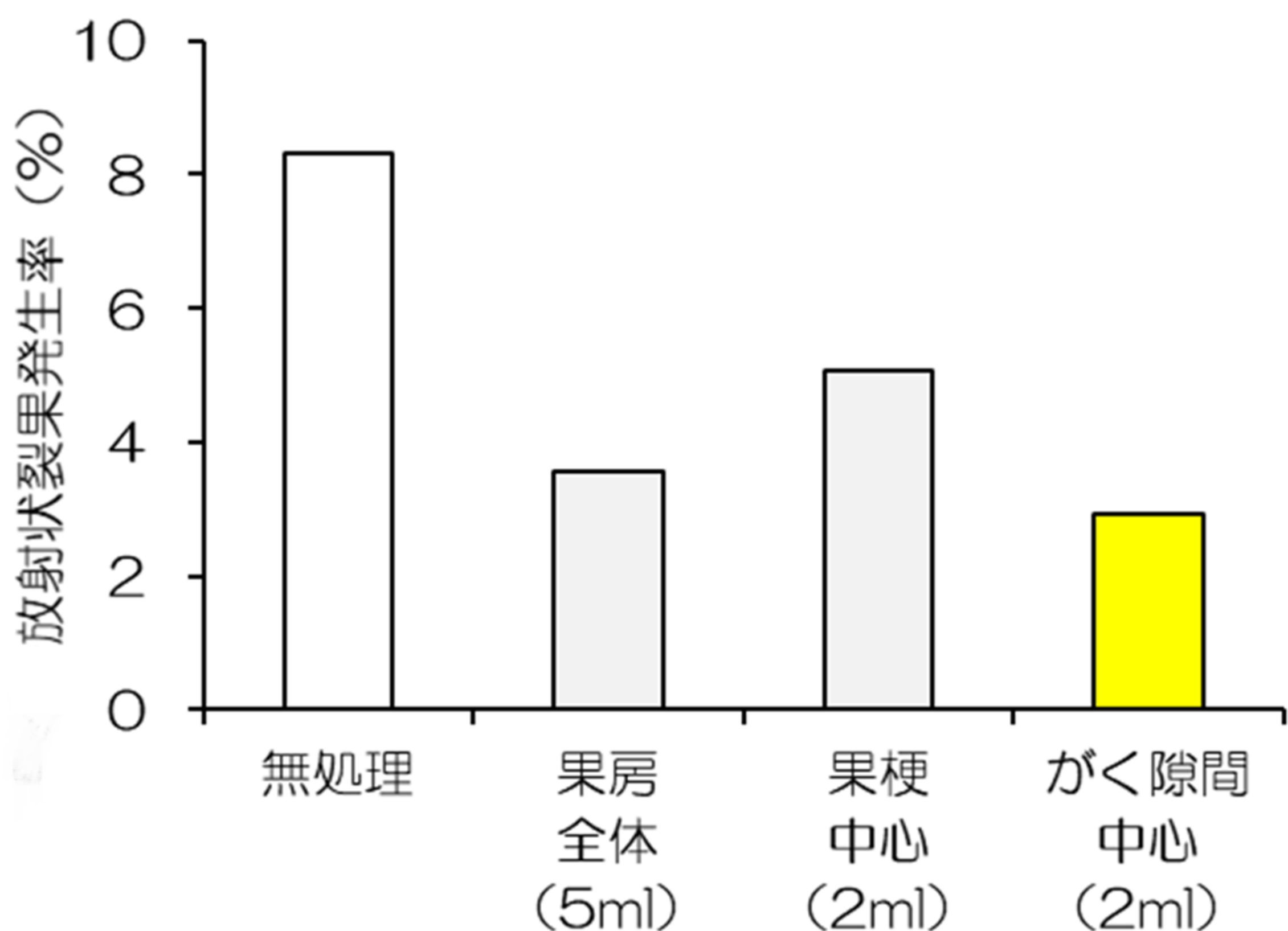


図1 1果房当たり散布量と放射状裂果発生率

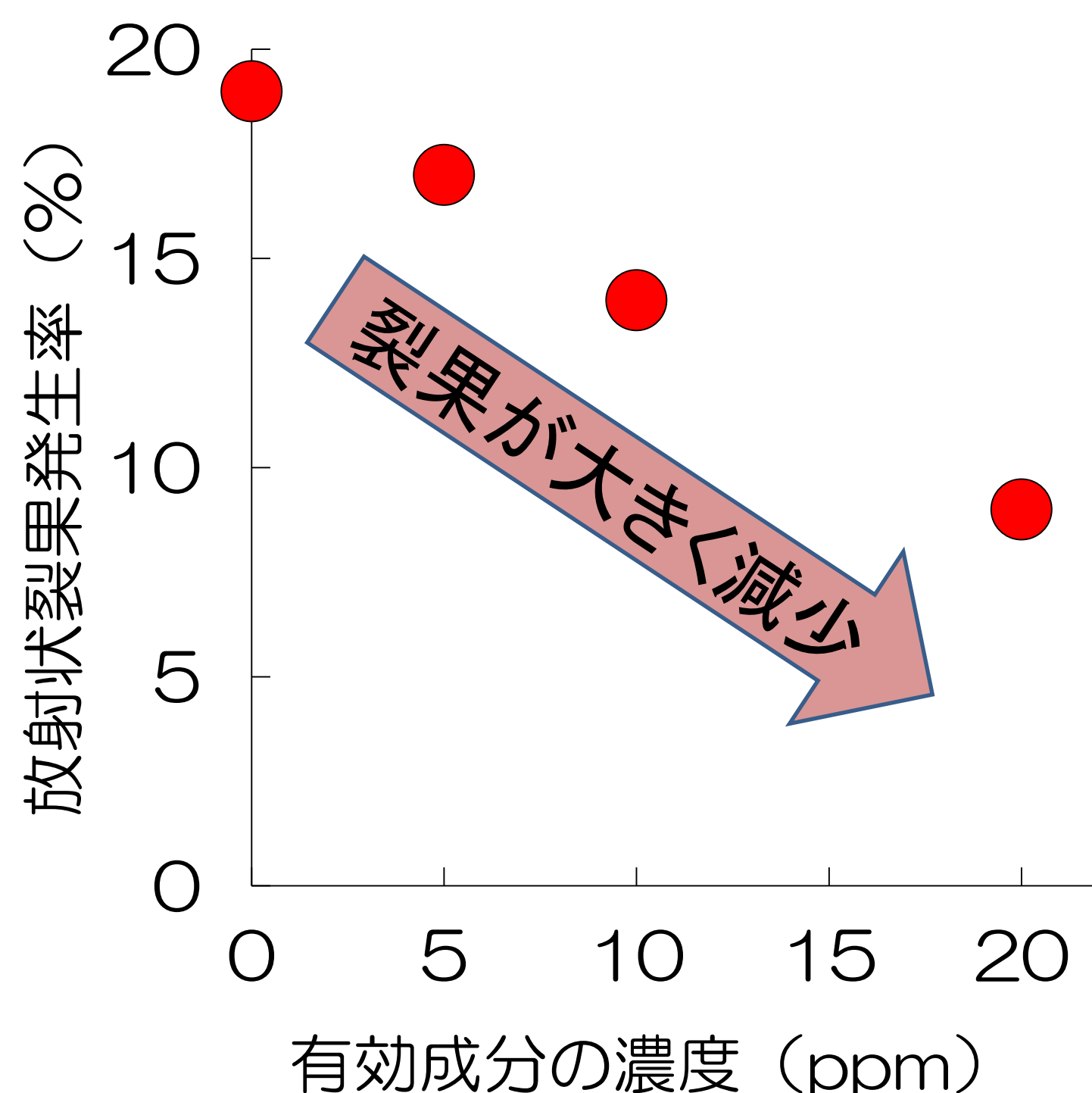


図2 濃度と放射状裂果発生率

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター
赤磐市神田沖1174-1

農業研究所

TEL. 086-955-0271